

平成25年12月 全国百貨店売上高概況

平成26年1月17日

I. 概況

1. 売上高総額	7,257億円余
2. 前年同月比	1.7% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	85社 242店 (平成25年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,237,379㎡ (前年同月比: -1.4%)
5. 総従業員数	80,714人 (前年同月比: -2.7%)
6. 3か月移動平均値	5-7月 2.1%、6-8月 2.2%、7-9月 0.6%、 8-10月 1.5%、9-11月 1.5%、10-12月 1.3%

[参考] 平成24年12月の売上高増減率は-1.3% (店舗数調整後)

【12月売上の特徴】

前月からの増勢を維持し2か月連続のプラスとなった。この結果、平成25年年間売上高は、店舗数調整後の既存店伸び率(+1.6%)で2年連続プラスとなったほか、店舗数調整前の全店売上高総額(+1.2%)でも平成9年以来16年ぶりに前年実績を上回ることであった。

12月は、気温低下による冬物需要の高まり、景況感の回復による株高や冬のボーナス支給額の増加、更には消費税率引上げ前の駆け込み需要などから、主力の衣料品(+0.6%)が堅調に推移したほか、クリスマス商戦を軸に引き続きラグジュアリーブランド(身のまわり品:+5.2%)や高級時計・宝飾品(美術・宝飾・貴金属:+15.7%)等の高額商材が活発に動いた。土曜日の一日減などマイナス要素はあったものの、増勢基調の商況に大きな変化は見られなかった。

その他当月の特徴的な動向としては、地区別では改装・増床効果と併せて好天(低温少雨)にも恵まれた大都市(10都市:+2.7%)が商況全般を牽引したこと、商品別では住宅市場の活況や大型消費財の駆け込み需要を背景に家具(+12.7%)が二桁増を記録したこと、訪日外国人は東南アジアと中国が牽引する形で、引き続き好調(売上:+118.2%)に推移した結果、年間売上高(調査対象43店舗の免税カウンターベース:約384億円/+91.6%)でも、前年比ほぼ2倍の規模にまで成長したこと、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇ 冬型の気圧配置となる日が多かったため、日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多かった。また、月平均気温は、東・西日本では低かったが、北海道は寒気の南下が弱く気温はかなり高かった。
- (2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 10日(" -1日/土曜1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数131店舗)
①増加した:38店、②変化なし:44店、③減少した:49店
- (5) 12月歳時記(クリスマス、歳暮、天皇誕生日、大晦日)の売上(同上/有効回答数107店舗)
①増加した:30店、②変化なし:54店、③減少した:23店

全国百貨店 売上高速報 2013年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	725,779,390	100.0	1.7 (1.3)
10都市	488,025,916	67.2	2.7 (2.5)
札幌	18,298,585	2.5	2.3
仙台	10,683,661	1.5	-0.7
東京	178,920,664	24.7	3.6 (3.0)
横浜	43,174,498	5.9	2.2
名古屋	45,593,790	6.3	5.7
京都	28,211,249	3.9	1.3
大阪	102,849,773	14.2	3.1
神戸	20,041,383	2.8	-3.0
広島	16,182,077	2.2	-4.7
福岡	24,070,236	3.3	3.7
10都市以外の地区	237,753,474	32.8	-0.3 (-1.1)
北海道	3,946,793	0.5	-1.2
東北	11,389,178	1.6	-0.3
関東	110,727,125	15.3	-0.2 (-1.2)
中部	18,617,465	2.6	-0.6
近畿	23,775,793	3.3	-0.3
中国	16,392,993	2.3	0.4 (-3.4)
四国	13,628,735	1.9	1.9
九州	39,275,392	5.4	-1.7

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	725,779,390	100.0	1.7 (1.3)
紳士服・洋品	50,345,549	6.9	0.7 (0.2)
婦人服・洋品	127,986,978	17.6	0.9 (0.5)
子供服・洋品	13,250,317	1.8	-1.8 (-2.1)
その他衣料品	15,073,083	2.1	-0.1 (-0.5)
衣 料 品	206,655,927	28.5	0.6 (0.2)
身のまわり品	91,142,136	12.6	5.2 (4.8)
化粧品	35,080,579	4.8	3.6 (3.1)
美術・宝飾・貴金属	37,202,733	5.1	15.7 (14.9)
その他雑貨	27,669,429	3.8	-0.4 (-0.5)
雑 貨	99,952,741	13.8	6.6 (6.1)
家具	8,128,257	1.1	12.7 (11.2)
家電	1,538,888	0.2	-24.1 (-24.1)
その他家庭用品	23,271,760	3.2	5.7 (5.4)
家 庭 用 品	32,938,905	4.5	5.4 (4.8)
生 鮮 食 品	56,309,080	7.8	0.0 (-0.2)
菓 子	67,265,338	9.3	1.2 (0.8)
惣 菜	54,216,963	7.5	-0.7 (-1.0)
その他食料品	81,474,499	11.2	-1.5 (-1.8)
食 料 品	259,265,880	35.7	-0.3 (-0.6)
食 堂 喫 茶	16,619,295	2.3	-2.4 (-2.6)
サ ー ビ ス	6,441,507	0.9	4.8 (4.7)
そ の 他	12,762,999	1.8	-5.2 (-6.2)
商 品 券	32,109,488	4.4	-11.4 (-11.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 2.7% (店舗数調整後/5か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -0.3% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	2.7	1.8	5か月連続プラス
札幌	2.3	0.1	5か月連続プラス
仙台	-0.7	0.0	2か月ぶりマイナス
東京	3.6	0.9	5か月連続プラス
横浜	2.2	0.1	2か月連続プラス
名古屋	5.7	0.3	5か月連続プラス
京都	1.3	0.0	2か月連続プラス
大阪	3.1	0.4	14か月連続プラス
神戸	-3.0	-0.1	6か月連続マイナス
広島	-4.7	-0.1	11か月連続マイナス
福岡	3.7	0.1	2か月連続プラス
10都市以外の地区	-0.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
北海道	-1.2	0.0	2か月ぶりマイナス*
東北	-0.3	0.0	3か月連続マイナス*
関東	-0.2	0.0	6か月連続マイナス
中部	-0.6	0.0	6か月連続マイナス
近畿	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
中国	0.4	0.0	2か月連続プラス*
四国	1.9	0.0	2か月連続プラス
九州	-1.7	-0.1	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が14か月連続、身のまわり品が5か月連続、家庭用品が3か月連続、衣料品が2か月連続のプラス。食料品が2か月ぶりのマイナスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が16か月連続、家具が5か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、化粧品、が2か月連続、菓子が3か月ぶり、その他家庭用品が4か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	1.7	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	0.7	0.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	0.9	0.2	2か月連続プラス
子供服・洋品	-1.8	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-0.1	0.0	3か月連続マイナス
衣料品	0.6	0.2	2か月連続プラス
身のまわり品	5.2	0.6	5か月連続プラス
化粧品	3.6	0.2	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	15.7	0.7	16か月連続プラス*
その他雑貨	-0.4	0.0	7か月ぶりマイナス*
雑貨	6.6	0.9	14か月連続プラス
家具	12.7	0.1	5か月連続プラス
家電	-24.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	5.7	0.2	4か月ぶりプラス
家庭用品	5.4	0.2	3か月連続プラス
生鮮食品	0.0	0.0	5か月ぶりマイナス*
菓子	1.2	0.1	3か月ぶりプラス*
惣菜	-0.7	-0.1	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-1.5	-0.2	2か月連続マイナス*
食料品	-0.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-2.4	-0.1	3か月連続マイナス
サービス	4.8	0.0	2か月ぶりプラス
その他	-5.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-11.4	-0.6	34か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

全国百貨店 売上高速報 2013年01月～2013年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	6,217,140,173	100.0	1.6 (1.2)
10都市	4,142,592,830	66.6	3.0 (2.7)
札幌	154,876,545	2.5	1.9
仙台	88,492,604	1.4	0.4
東京	1,565,208,496	25.2	3.5 (3.0)
横浜	365,041,454	5.9	2.1
名古屋	382,373,470	6.2	5.2
京都	241,491,442	3.9	-0.1
大阪	848,790,692	13.7	5.4
神戸	161,970,692	2.6	-2.1 (-4.0)
広島	136,073,690	2.2	-4.7
福岡	198,273,745	3.2	2.2
10都市以外の地区	2,074,547,343	33.4	-1.0 (-1.7)
北海道	34,409,948	0.6	-0.7
東北	105,465,708	1.7	-1.6
関東	983,851,469	15.8	-1.3 (-2.4)
中部	158,802,466	2.6	-1.9
近畿	207,010,347	3.3	-0.1
中国	145,373,705	2.3	0.5 (-2.2)
四国	113,775,902	1.8	-0.1
九州	325,857,798	5.2	-1.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	6,217,140,173	100.0	1.6 (1.2)
紳士服・洋品	434,314,053	7.0	1.0 (0.6)
婦人服・洋品	1,387,990,157	22.3	0.3 (-0.2)
子供服・洋品	152,778,595	2.5	-1.3 (-1.9)
その他衣料品	153,073,094	2.5	-0.2 (-0.6)
衣 料 品	2,128,155,899	34.2	0.2 (-0.2)
身のまわり品	791,132,872	12.7	5.0 (4.4)
化粧品	336,123,048	5.4	2.2 (1.8)
美術・宝飾・貴金属	319,147,088	5.1	15.5 (14.8)
その他雑貨	242,248,653	3.9	0.1 (-0.1)
雑 貨	897,518,789	14.4	5.9 (5.5)
家 具	79,701,223	1.3	4.1 (3.3)
家 電	18,988,261	0.3	-1.3 (-1.3)
その他家庭用品	204,093,286	3.3	0.7 (0.3)
家 庭 用 品	302,782,770	4.9	1.4 (0.9)
生 鮮 食 品	363,768,435	5.9	-0.6 (-0.9)
菓 子	465,034,437	7.5	1.1 (0.7)
惣 菜	371,831,000	6.0	0.1 (-0.2)
その他食料品	532,452,776	8.6	-0.5 (-0.9)
食 料 品	1,733,086,648	27.9	0.0 (-0.3)
食 堂 喫 茶	179,718,665	2.9	1.7 (1.4)
サ ー ビ ス	67,025,160	1.1	0.1 (-0.1)
そ の 他	117,719,370	1.9	-2.0 (-3.0)
商 品 券	194,956,259	3.1	-7.0 (-7.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>